

広報委員 の一言

私には、ほぼ年1回のペースで何度も見返している映画があります。それは1977年に公開された「八甲田山」です。新田次郎の小説「八甲田山死の彷徨」を原作とする史実に基づいた映画で、高倉健さんを始めとする豪華俳優が出演している大変有名な作品です。初めて観たのは公開当時ではなく、30年程前のことだったと思います。上映時間の2時間半の大半が雪山での過酷なシーンで占められており、こんなことが実際にあったのかと、何度観ても辛い気分になる映画です。

1902年、日露戦争を目前に控えた日本陸軍は、寒冷装備と寒地訓練が不足していることが課題であると、厳冬期の八甲田山系で雪中行軍を実行します。青森と弘前から、二つの連隊がそれぞれ出発し、雪の八甲田ですれ違う計画とされました。しかし、その行程の最中、記録的な大寒波が八甲田山系に訪れてしまいます。青森連隊は視界も効かぬ猛吹雪の中、方向を見失って彷徨うこととなり、210名中199名が死亡するという悲惨な結果となりました。

現在、その地には慰霊塔や遭難記念碑が建てられています。私も30年程前に青森旅行をした際に訪れたことがあります。もちろん冬ではありませんが、誰もおらずひっそりとしていました。小さな古びた資料館もあり（2002年に老朽化で閉鎖。2004年リニューアル）、実際に部隊が使った道具や、隊員たちの重度の凍傷の記録などが展示されていたと記憶しています。

実は、私の住む新発田市にも映画のロケ地があります。現陸上自衛隊新発田駐屯地内の、通称「白壁兵舎」と呼ばれる建物です。均整のとれた美しい兵舎の外観が、映画の中でしっかり確認できます。白壁庁舎は、現在史料館として一般公開されています。映画の撮影風景を収めた写真や出演俳優（高倉健、三國連太郎、加山雄三など）のサインも展示されています。冬季には「八甲田山」の上映会が1週間程開催されます。ここ数年は、そこに年1回行っているため、年1ペースの鑑賞になっているというわけです。

また、渋谷のオーチャードホールで「八甲田山 シネマ・コンサート」が2020年2月に開催されました。大スクリーンでの映像に合わせて、音楽パートをフルオーケストラが生演奏を行うという、大迫力の上映会です。上映前には出演者である北大路欣也さんと秋吉久美子さんによるトークイベントもありました。後ほど調べた情報ですが、製作陣は実際に遭難事故のあった冬の八甲田で撮らなければ本物の空気感は出ないと、3年に亘って命懸けでロケを行ったのだそうです。極寒の厳しい撮影に耐えきれず逃げ出すエキストラもいて、駅に見張りを立てたというエピソードもあったそうです。

映画「八甲田山」をご紹介します。今年の冬も、また観るだろうと思います。

（平塚 素子 記）

広報委員会委員：佐藤雄一郎・橋立英樹・勝井豊・高塚尚和・横田さおり・磯部賢論・恩田晃・平塚素子

新潟県医師会報・第916号〔令和8年7月〕

発行所 〒951-8581 新潟市中央区医学町通2-13 新潟県医師会

TEL：025-223-6381 FAX：025-224-6103

ホームページ：http://www.niigata.med.or.jp メール：kaihou@niigata.med.or.jp

印刷所 〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18 株式会社 DI Palette
